

ナルチス III

眉の下の
美しい瞳よ
まつげの中の美しい瞳よ
すみきつてこちらを見てゐる

こちらを見つめてゐるお前は
その口のくれなゐもまた

私の瞳を美しいと
言ひつづけてゐるやうだ

私は風がおそろしい
お前を 私を 私たちを
散らしてしまふからだ

両の肩にながれる髪の本一本が
ほほの白さの外側を
くつきりとさせて水にうつつてゐる